

原爆投下80年の広島

若者のさまざまな伝承活動

平和テーマに取材

被爆証言絵で再現

広島に原爆が投下された80年前は、市民が動画や写真で記録に残すことが難しい時代でした。被爆者の高齢化が進む中、若者がさまざまな形で記憶を引き継ぎ、平和を考えてもらう取り組みを進めています。(1面に関連記事)

「あなたが平和のために毎日80秒でできることは何ですか?」。8月6日、式典が終わった後の平和記念公園で腕章を付けた中高生が来訪者に問いかけていました。中国新聞(広島市)の「ジュニアライター」です。原爆や平和をテーマに取材を行い、記事を書いています。

この日集まったのは20人ほど。3〜4人のグループに分かれて取材を行い、相手の回答を折り鶴に書いてもらいました。中学3年の小林真衣さん(15)、高校1年の松藤凛さん(15)、高校2年の尾関夏彩さん(17)のグループも、平和記念公園を歩き回り、来場者の取材に挑みました。3人がジュニアライター



①腕章を付けて取材活動に取り組む中国新聞ジュニアライター

②証言者と対話を重ね完成した原爆の絵について解説する松岡さん＝いずれも8月6日、広島市



に参加した当初は、先輩たちの話が難しくついていけなかったといいます。それでも活動や勉強を続け、少しずつ理解を深めました。被爆者が語った「私たちのことを伝えて」という言葉が胸に響き、活動を支える力になっています。

平和記念公園の一角に

ある広島国際会議場では、別の高校生のグループが絵を使った伝承活動をしていました。市による中高生の平和文化イベントの一環で、演劇やアニメーション上映などに交じり、広島市基町高で「原爆の絵」の制作に取り組む生徒たちが、作品の解説をしまし

た。生徒たちの活動は18年目になりました。今年も生徒有志13人が、絵の制作を希望する被爆証言者と対話をしながら、約8カ月かけて絵を描き上げました。生徒たちは何度も聞き取りをしたほか、資料も集め、証言者の頭の中の光景をキャンバスに再現します。3年の松岡瞳美さん(18)は「大やけどを負って逃げ惑う人、一人一人に暮らした人生があったはず」と想像して描いた」と振り返ります。被爆者が年々減り続ける中、「被爆者たちの思いや苦しみをなかったことにしない」と、絵に描き残す意義を強調しました。

しっかり見据えよう自分自身の将来

2026年度

宮城県内

私立高校入試情報

宮城県内の私立高校のオープンスクールや説明会などの最新情報をお届けします。学校の雰囲気を感じ取るチャンスです!ぜひ学校へ足を運び、自分の未来を覗いてみませんか?詳しくは各校のHPをご確認ください。(順不同)

日本ウェルネス宮城高等学校

本校は、大学、専門学校、高等学校、保育園、幼稚園等を全国59拠点で運営するタイケン学園グループです。

学校説明会
9/27(土)・10/18(土)・11/15(土)
12/20(土)・1/17(土)

個別相談会・部活動体験
随時お申し込み受付中
HPの申込フォームよりご予約ください

募集: 総合コース 40名・スポーツコース 80名
〒981-0303 東松島市小野字裏丁1
TEL: 0225-20-9030

日本ウェルネススポーツ大学ほかグループ校へ推薦で100%進学可能!

大崎中央高等学校

第3回オープンスクール

10/4(土)

進学相談会

個別相談/部活動体験

第1回 10/25(土)

第2回 11/15(土)

第3回 11/22(土)

詳しくは学校のホームページで!

総合コース 募集定員120名
介護福祉コース 募集定員30名
保育コース 募集定員30名

お問い合わせ 大崎中央高等学校 TEL.0229-22-2030